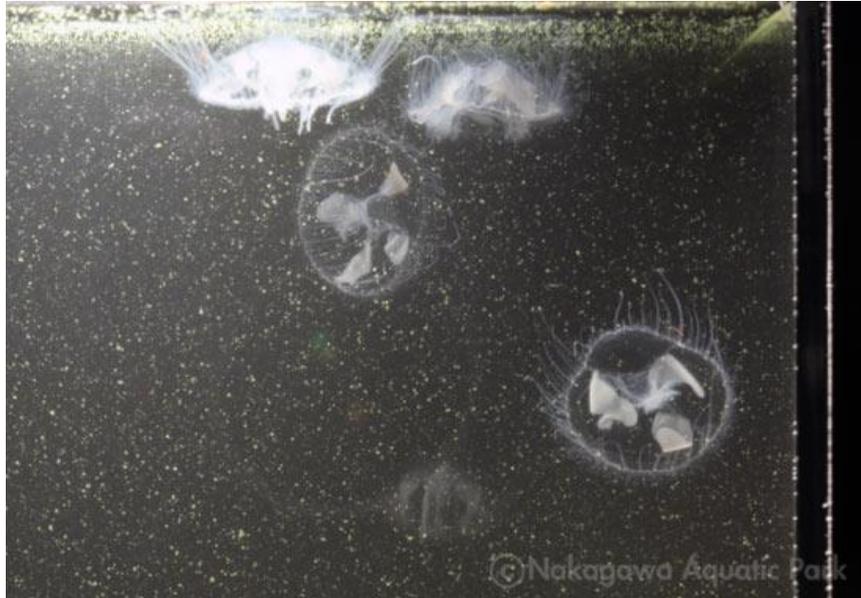




淡水にすむクラゲ「マミズクラゲ」を特別展示



全国的にも稀で、県内でも発見例が少ない「マミズクラゲ」を特別展示しました。
9月22日に一般の方の情報により、那須烏山市の池より採集いたしました。

マミズクラゲは、淡水にすむクラゲで、湖や池などの真水に生息しています。ヨーロッパ、アジア、北アメリカの温帯、亜熱帯地域に分布する直径 2cm ほどの透明な小型のクラゲです。

日本全国に分布し、栃木県内でも稀に発見されます。水底の石などにポリプと呼ばれる状態でくっついて生活し、夏から秋にかけてクラゲになり遊泳生活をしますが、同じ場所から毎年発生せず、数年に一度程度、不定期にクラゲになり発見される、謎の多い生き物です。

当園での展示においても、発見場所はそれぞれ異なり、平成 22 年に県南部、平成 23 年に壬生町、平成 25 年に真岡市で発見されています。今回の展示は、開園以来 4 回目となります。

水中のプランクトンを食べて生活し、寿命は短く、1 週間程度しか生きません。貴重なクラゲをこの機会にぜひご覧ください。

展示生物	マミズクラゲ (学名: <i>Craspedacusta sowerbyi</i>)
大きさ	傘径: 2.0~2.5cm
展示場所	なかがわ水遊園 おもしろ魚館 展示ゾーン内特設水槽
展示期間	平成 27 年 9 月 23 日 (水・祝) ~ 一週間程度 ※短命な生き物であるため、長くても一週間程度で展示が終了すると思われま

お問合せ 広報: 渡辺 (裕)・前田 展示: 渡辺 (敬)・目野
〒324-0404 栃木県大田原市佐良土 2686 栃木県なかがわ水遊園
Tel.0287-98-3055(夜間&休園日 0287-98-3060) ※9/24 日(木)は休園日です
Fax0287-98-3115
<http://tnap.jp>